64 号

なでしこ通信

平成 29 年度　新春号

新春のあいさつ

●静岡市里親家庭支援センター理事長　眞子義秋

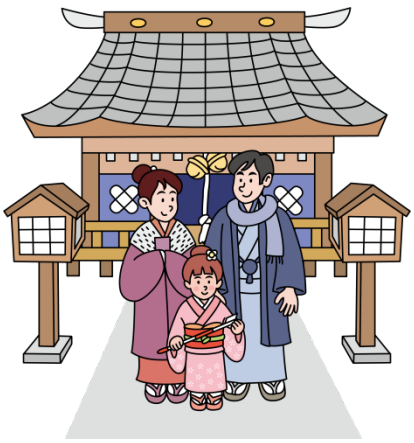
皆様、明けましておめでとうございます。

昨年は、ご支援ご協力をいただき有難うございます。

当センターでは、これまで、センター職員が新規委託された里親さんの養育が安定するまで、そして特に、子どもの変化に合わせて支援が必要になった里親さんを対象に家庭訪問をし、センターが委嘱した里親相談員には、養育が安定している里親さんを家庭訪問するというように役割分担をしてきましたが、よりきめ細かな支援を行えるよう、平成 28 年からはセンター職員も全里親を対象に家庭訪問させていただいております。

さらに、思春期を迎える子どもの様々な行動の表れにより早く対応できるよう、昨年は、センター独自事業として、①フォスタリングチェンジ・プログラムや②臨床心理士による心理相談を開設するとともに、未受託里親の養育スキルを上げることができるよう、③未受託里親フォローアップ研修を開催し、それぞれ大きな成果を上げることができました。

昨年8月には、「新しい社会的養育ビジョン」が公表されましたが、新ビジョンが示した方向性に向けて新たな社会的養育を着実に推進するため、国は有識者における専門委員会での検討を基に、具体的な様々な施策を春ごろには打ち出してくるものと思っています。その内容の如何によっては、当センターの事業についても一層の強化が必要になってくることがあるのではないかと考えています。わが国の社会的養護も、ようやく家庭養護が主役となって牽引する時代を迎えつつありますが、そのためには、まだまだ制度的には準備不足の面が否めず、これからが正念場と思われます。



これからも、里親子の支援のため、職員一同頑張っていく所存ですので、皆様のご理解、ご支援をお願い致します。

●里親会会長　　眞保和彦

年頭にあたり謹んでご挨拶申し上げます。

皆様もこの１年を振り返った時、多くの思いと経験が見つけられることと思います。その一つひとつが、里親としてのスキルを向上させ、子どもたちの幸せにつながったことでしょう。これからの１年も、子どもたちの幸せのために昨年以上に行事や研修に参加いただき、さらなる養育スキルの向上と里親仲間を増やしていただくことをお願い致します。

また、本年７月８日には関東甲信越静里親研究協議会静岡市大会が開催されます。静岡市里親会は主催者として、この大会を盛り上げるために会員の皆様には大会スタッフとしてご参加いただきたいと思っております。どうか７月８日は今から大会のために予定していただき、ご参加、ご協力いただけますようお願い申し上げます。

H29 年度　　新しい里親さん紹介

養育里親登録年月日　平成 29 年 12 月 6 日
□葵区　2 組

受賞おめでとうございます

第 62 回全国里親大会京都大会
全国里親会会長表彰　　清水区　里親　ご夫妻

第 63 回関東甲信越静里親研究協議会さいたま市大会
関東甲信越静里親研究協議会会長表彰　　葵区　里親　ご夫妻

静岡市社会福祉協議会会長表彰
里親功労者被推薦　清水区　里親　ご夫妻

静岡県社会福祉協議会会長表彰
里親功労者被推薦　葵区　里親　ご夫妻

スキルアップ研修

第12回スキルアップ研修　「第2回保護者のための特別支援教育勉強会」

平成29年11月11日（土）
RSTビル　10～12時　　里親14名　児相1名　参加

山内康彦先生

『早期からの適切な支援によって二次障害を防ぐことができる』
「子どもが親亡き後も
１人で生きていくために必要な力は何か？」

ヴァインランドⅡに書かれていることは・・・
自立した生活を送るために必要な
身につけさせたい適応能力や社会性等の具体的な内容

今年度、児童相談所が子どもたちのために取り入れた検査法「ヴァインランドⅡ」勉強会の2回目でした。検査はコミュニケーション、日常生活スキル、社会性、運動、不適応行動など5つの領域から構成されていて、質問に答えることで子どもにどのくらい力がついているかがわかり、今後何にチャレンジすべきかが見えてきます。

☆ 講義内容を少し紹介～就職するために必要なスキルって何？～

① 身辺自立
② 自分で会社に通う
③ 「やろう」と言われたらすすんでやる
④ 仲間にいじわるをしない
⑤ 気持ちのよいあいさつ

・・・簡単そうだけど、大人は職場で、子どもは学校でできているかな？

＜ 参加者感想 ＞

「今日から変えられるのは、親の意識。目の前にいる子どもの弱みと強みをしっかり見ること」「学力も大事だが、適応能力、社会性を身につけることが大切」

次回　平成30年4月21日を予定しています。

第 13 回スキルアップ研修

「発達・障害の理解」

平成 29 年 11 月 22 日（水）
里親　２５名参加
講師　静岡北特別支援学校 池上千穂先生

研修の冒頭の「発達障害などのお子さんは“　困った子”ではなく“困っている子”なんです。」という先生の言葉にまず“はっ！”とした方が多かったのではないでしょうか。

“困らせる子”ではなく“本人が困っているんだ”という気持ちになると、私達大人の関わり方も当然変わりますよね。

先生のお話はまず大人の視点を変えるところからでした…。視点が変わるとこんなに障害の理解がしやすくなる、又、“こんな風に困っています”と障害による視覚・聴覚についても障害を持つ子どもの視点から具体的な例をあげて　とても分かりやすく説明してくださいました。

発達についてや、障害についてはこれまで支援センターの研修でも何回か取り上げたり、他からの情報で断片的に知識を持っている方は多いと思います。
今回は、それらをまとめて順序立てて、将来の進学に向けた支援の方向も紹介していただきました。
今まさに“困った子！？”の表れに悩んでいる里親さんも、「本人はこういう事で苦労していたんだ」と理解し、「こういう支援をしてくれるところがあるんだ」と勇気づけられたのではないでしょうか？

関心が高い内容で、たくさんの人に参加していただきました。ありがとうございます。

先生からは読みやすい書籍の紹介もしていただきました。

参加者感想

・支援や教育体制について、最新の情報が聞けて良かったです。
・将来の事（中学・高校）が不安でしたが色々な情報を教えていただきました。今後の参考になりました。
・発達障害をもつ人の感覚が初めて理解できた気がします。
・“困った子”ではなく“困っている子”と思って接していきたいです。

第 14 回スキルアップ研修「フォスタリングチェンジ・プログラム」中間報告発表会

平成 29 年 12 月５日（火）
里親 15 名
（受講修了者６名参加）

ファシリテーター
佐野多恵子　氏
トマジ里絵　氏

今年度第1回スキルアップ研修で取り扱った「フォスタリングチェンジ・プログラム」を 5 月～7 月　全 12 回受講者6名で実施しました。今回はその中間報告発表会で、受講修了者から、プログラム受講前と受講後の各家庭で実感した子どもの変化や親子関係の変化についての話を聞き、その後ロールプレイで「疑似フォスタリング・プログラム」を体験しました。受講修了者や今回研修を受けた方からも、“もっと早く知っていればよかった”という意見も聞かれ、参加された方は自分の家庭に当てはめて聞いている方も多かったようです。

参加者感想

・ロールプレイの例が楽しくて分かりやすくて良かった。
・良いプログラムだと思う、里親全員が受講出来ればよいと思った。
・自分も受講したいと思った。
・受講した方々の様子や体験談が良かったです。

第 13 回日本放送文化大賞準グランプリ受賞　！

SBS ラジオの「幸せのカタチ・・・本当の親子　本物の親子」

静岡放送の原田アナウンサーが平成 28 年 12 月から 29 年 5 月にかけて、静岡市で養育困難な子どもを受け入れて育てている里親さん 8 組に密着取材。番組は、それぞれの里親さんが苦悩しながらも、深い愛情を通じて養育している姿を丹念に追い、里親さんが創り出す家族の絆を見事に描いてくれました。コマーシャル抜きの 1 時間番組でしたが、普段のキャラと打ってかわって、心に染み入るような語り口に、放送時間を忘れるほどに、引き込まれる内容でした。原田さんは「映像のないラジオだからこそ、里親さんが寄り添って話してくれた。ありがとうございました」と取材の応じてくれた里親さんや静岡市里親家庭支援センターに感謝の言葉がありました。血は繋がっていなくても、親子としての家庭を築くこと、あたたかい愛情をもって子どもを育てること、楽しい家族の思い出を創ることが出来ると信じ、これからも里子達と生活していきたいと心から思います。

（デレクター　築地さん　アナウンサー　原田さん）

平成 29 年度　**里親月間記念講演会**

日時　平成 29 年 10 月 1 日（日）12:30～15:30
会場　アイセル２１（静岡市女性会館）１階ホール

演題　「母と子の絆」～愛着を深めるための癒し１２のステップ～

講師　ヘネシー・澄子 氏（クロスロード・フォー・ソーシャルワーク社所長
社会福祉学博士・東京福祉大学名誉教授）

「愛着の絆」は、脳と肉体の成長発達を促し、人間関係作りの基礎や、自制・自癒能力、日常的に起こるストレスを乗り越える力を育むことが脳の研究でわかりました。

里親宅に来る子どもたちは、実親との愛着関係の形成に問題があり、健常な発育・成長過程が中断されています。愛着を深める行動で里子を癒し、脳の愛着の場所を育てましょう。

ステージ1：子どもの否定的行動を理解しよう
トラウマを持っている子どもたちは、怒り、恐怖、不安感で、脳の興奮が鎮まらない。緊張ホルモンでストレス反応が増加している。静かで、一貫していて、予期できる生活環境が必須である。

ステージ2：大人は自分を知ろう
自分の内面に注目し（自己覚知）、自分のストレスや感情の引き金を子どもにひかれないようにする。

ステージ3：アイコンタクトの練習
子どもの眼をしっかり見て話す（怒りの眼でなく共感の眼で。）

ステージ4：互いに微笑みあうことの実践
やさしい親・大人の顔つきは子どもに「受け入れられた」「自分は愛されてよい人間だ」と実感させる。

ステージ5：子どもを抱く、抱擁(ハグ)する
愛情ホルモンが増加し、愛し愛される体験ができるようになる。

ステージ6：抱擁にリズムをつけて揺する
シンクロニシティー(同時性)を体験し、自癒能力を育む。

ステージ7：優しい接触とマッサージ
癒しの接触は、脳の緊張を解き、肉体の発育ホルモンを分泌させる。

ステージ8：感情を言葉で表現させる
感情(右脳)と理性(左脳)の統合や、自制能力の発達を促す。「言葉で伝えてくれてありがとう」と言ってから返答する。

ステージ9：衝動的な行動をとどめ、待つ事を学習させる
待つ事は前頭葉を発達させる。待てたらご褒美（微笑、優しい言葉かけ、優しいタッチ、一緒に5分ほど遊びに参加、果物など）

ステージ10：少しでも良いところを探し、その行動を描写して褒める
肯定的な自己意識の形成。親から褒められることは、子どもに自信を持たせ、自尊心を育てる。

ステージ11：明るく、静かな声かけ(治療的応答)
叱らず、質問形式にして考えさせる。しつけとは「肯定的に」教えること。叱るのは自分や人を危険にさらすときのみ、60秒以内で短く一つの事だけ言う。

ステージ12：発達段階に適した家庭内のルールをつくる
～してください・ごめんなさい・失礼などを子どもに教え、大人も必ず言う。していいこと・してはいけないことのルールを作り、守らせる・子どもに安全感を与える。

☆ 保護者が出来る子どもの癒しの支援 ☆

- 深呼吸で、気持ちを落ち着かせる
- 学齢期までの子どもたちとは遊びを通して癒す
- 子どもの話を批判せずに聞く
- リズムを使った脳の調整（太鼓、ダンス、リズム楽器、合唱などを習わせる）
- 対人関係のリズムを取り戻す運動に参加させる
  （剣道などの武道、ヨガ、競争のないスポーツなど）

ヘネシー先生は子どものトラウマ、親子の愛着障害治療の第一人者であり、科学的で客観的で具体的で、とてもわかりやすい内容でした。

参加者からは、「教えてもらった方法を実践していきたい」「尊敬され信頼されることが愛着の絆を形成する」「何歳になっても絆を結び直すことができるという言葉を胸に頑張りたい」等の感想をいただきました。

平成29年度　子どもの家庭養育推進官民協議会研修会が静岡市で開催　！

平成 29 年度子どもの家庭養育推進官民協議会研修会が静岡市と共催（当センター・里親会協力）により、平成 29 年 9 月 22 日（金）11：00 から静岡市職員会館で開催されました。

当協議会は、子どもの最善の利益の実現に向け、幸福で愛情豊かな理解ある家庭環境の下で成長できる社会を目指し、全国の自治体と関連する民間団体が手を携えて、包括的な取組みを推進していくため、昨年 4 月に結成され、当センターも加盟しています。

静岡市の里親委託率（平成 28 年 3 月 31 日現在）が全国 1 位になった静岡市の里親支援の取組みをはじめ、今年 8 月に公表されたばかりの「新しい社会的養育ビジョン」の全体像や里親養育の質の向上に注目されている「フォスタリングチェンジ・プログラム」について、多くの参加者の間で情報共有が図られ、今後の取組みに向け、有益な研修会となりました。

当日のプログラム

第 1 部　加盟団体情報交換会　（11：00～12：00）
- ・「新しい社会的養育ビジョン」に関するレクチャー
- ・加盟団体アンケート調査結果について

第 2 部　静岡市における里親等委託推進に関する講演会〈13:00～14:20〉
- ・講演会「里親支援のための連携の在り方について」
  講師　静岡福祉大学　相原眞人教授
- ・パネルディスカッション
  パネラー：静岡市、静岡市里親家庭支援センター、静岡市里親会
  コーディネーター：静岡福祉大学　相原眞人教授

第 3 部　フォスタリングチェンジ・プログラム講演会〈14:30～16:15〉
- ・講演会「フォスタリングチェンジ・プログラムとは」　講師　長野大学　上鹿渡和宏教授
- ・パネルディスカッション
  パネラー：実施団体ファシリテーター（三重県、福岡市、静岡市里親家庭支援センター）
  プログラムを受講された静岡市里親さん 2 名
  コーディネーター：広島国際大学　松﨑佳子教授
  アドバイザー：長野大学　上鹿渡和宏教授

H29.10.16 アイワ不動産チャリティーコンサート収益金寄贈式

平成 28 年に引き続きアイワ不動産チャリティーコンサート実行委員会が平成 29 年 9 月 29 日に開催されたチャリティーコンサートの収益金の一部を当センターに寄贈していただきました。

寄贈式は、平成 29 年 10 月 16 日（月）14 時から静岡市児童相談所多目的室で行われました。出席者は次のとおりです。

□　当実行委員会　㈱アイワ不動産ホールディングス　代表取締役会長
　　アイワ不動産チャリティコンサート実行委員会委員長　藤井嗣也様
　　㈱アイワ不動産　代表取締役社長　関根和孝様
□　当センター　理 事 長　眞子義秋
　　事務局長　望月秀樹
□　静岡市里親会　会　長　眞保和彦

寄贈式終了後の歓談では、眞保会長の出前講座を 2 年前に藤井会長が受講し、大変感動をされ、それが心に残っていて、平成 28 年度から、当センターへの寄贈につながった経緯がわかりました。また、会長の思いは、代表取締役社長の関根さんが継いでくれるとの心強い話も聞くことができました。眞保会長と藤井会長に感謝、感謝です。

こちらからは、センターの事業概要や里親会の活動状況を説明させていただくとともに、平成 29 年からモデル的に実施しているフォスタリングチェンジ・プログラムの運営のために、寄贈されたお金を使わさせていただく旨のお願いをし、ご了解をいただきました。

※　当実行委員会は、2012 年より東日本復興応援チャリティーコンサートを開催され、東日本の復興支援のため、収益金を寄贈されてきましたが、平成 28 年より静岡市の子ども支援団体が加えられ、当センターが寄贈団体に選ばれました。

「秋の里山体験」

10 月 15 日（日）　参加者　22 人

何という事でしょう！里山は今年も雨！でも今年はあわてません。雨も自然の恵みですから･･･。カッパを着て、長靴をはいて、傘もさして自然体験に出発しました。雨の中でも子ども達は色々なものを発見します。宝物を持って帰ってくると、みんなにお披露目しました。木の枝も葉っぱも木の実も宝物です。寒かったけど楽しかったです。

≪参加者感想≫

楽しかった･大きいミミズ初めて見た･木の実美味しかった･怖くて食べれなかった･頂上まで登りたかった葉っぱ沢山拾ったよ（子ども）　　来年こそ晴れて！と願う里親の声等々でした。

「メイクアップ講座　」

11 月 12 日（日） 参加者 6 人

SBS 原田アナウンサーの紹介のミミ先生こと青木美嵯子先生による「メイク講座」。ただで、美人になれるとあってウキウキで参加しました。人相学や皮膚のこと、洗顔の仕方等子ども達にも為になるお話を楽しく聴かせてもらいました。的確なアドバイスで流石、ビックママ風ミミ先生！本当に良い方でした。それぞれの眉をカッコよくしてもらい、みんな 5 割増しの美人に!(^^)!次回が楽しみです。

講師　青木　美嵯子　氏

「親子クッキング」

12 月 16 日（土） 参加者 26 人

お菓子作りに挑戦！　ボランティア講師の佐野先生に教えていただき、パウンドケーキとサツマイモの蒸しパンを作りました。混ぜたり練ったり、ﾊﾝﾄﾞﾐｷｻｰや包丁も使ったり、やれることが沢山あって楽しかった！！　蒸したてをみんなでワイワイ試食し、ケーキはクリスマスのラッピンで持ち帰りました。

講師　佐野容子氏（右）
ボランティア（左）

≪参加者の感想≫

上手に出来た・楽しかった・卵初めて割ったよ・今度はいちごのケーキを作りたい
さつまいも蒸しパン美味しかったと楽しそうに話してくれました。

活動報告(10～12 月)

10 月 1 日（日）	里親月間記念講演会 「母と子の絆愛着を深めるための癒し 12 のｽﾃｯﾌﾟ」 講師ヘネシー・澄子氏 参加者 189 人	静岡市葵区にて
10 月 5 日（木）	出前講座「養育体験発表」駿河区里親 参加者 90 人	西部学習センターにて
10 月 6 日（金）	出前講座「養育体験発表」葵区里親 参加者 9 人	あざれあにて
10 月 6 日（金）	ちびっこサロン 参加者 6 人	静岡市葵区にて
10 月 11 日（水）	相談員「傾聴」研修 アクティブリスニング静岡	静岡市児童相談所にて
10 月 15 日（日）	秋の自然体験（里親会） 参加者 22 人	静岡市駿河区にて
10 月 16 日（月）	アイワ不動産チャリティコンサート収益金に係る寄贈式	児童相談所にて
10 月 24 日（火）	里親サロン 参加者 20 人	葵区にて
10 月 28 日（土）	1 日里親体験みかん狩り 参加者 45 人	清水区他
11 月 2 日（木）	出前講座「養育体験発表」葵区里親 参加者 35 人	JA 安東にて
11 月 8 日（水）	相談員「傾聴」研修 アクティブリスニング静岡	静岡市児童相談所にて
11 月 11 日（土）	出前講座「養育体験発表」 葵区里親 参加者 36 人	さがみの里親会にて
11 月 11 日（土）	第 12 回スキルアップ研修 「保護者のための特別支援教育勉強会」 講師山内康彦氏 参加者 14 人	RST ビルにて
11 月 12 日（日）	「メイクアップ講座」（里親会） 講師青木美嵯子氏 参加者 6 人	静岡市葵区にて
11 月 15 日（水）	出前講座「養育体験発表」清水区里親 参加者 34 人	高部生涯学習交流館にて
11 月 18 日（土）	ちびっこサロン（芋ほり大会） 参加者 41 人	静岡市葵区にて
11 月 22 日（水）	第 13 回スキルアップ研修「発達・障害の理解」 講師　静岡県立北特別支援学校　池上千穂教諭 参加者 25 人	少年の家にて
11 月 25 日（土）	ボランティア説明会 参加者 4 人	ふしみやビルにて
11 月 30 日（木）	里親サロン 参加者 14 人	清水区にて

12 月 5 日（火）	第 14 回スキルアップ研修 「フォスタリングチェンジ・プログラム」 参加者 15 人	少年の家にて
12 月 8 日（金）	出前講座　「養育体験発表」駿河区里親 参加者 50 人	静岡県立短期大学にて
12 月 9 日（土）	合同サロン　クリスマス会 参加者 72 人	静岡市児童相談所にて
12 月 9 日（土）	スキルアップ研修（中高生以上対象） 「就業支援セミナー」 参加者 4 人	浜松市福祉交流センターにて
12 月　10 日（日）	出前講座（制度説明） 参加者 20 人	両河内生涯学習交流館にて
12 月 13 日（水）	出前講座「養育体験発表」駿河区里親 参加者 200 人	静岡常葉短期大学にて
12 月 16 日（土）	親子クッキング（里親会） 講師　佐野容子氏 参加者 26 人	静岡市葵区にて
12 月　17 日（日）	里親制度説明会 参加者 8 人	ふしみやビルにて
12 月 29 日（金） ～1 月 3 日（水）	静岡市里親家庭支援センター　休業日	

＜　今後の予定　＞

1 月 23 日（火）	スキルアップ研修	（申込み受付中）
1 月 28 日（日）	新春もちつき大会	（申込み受付中）
2 月 2 日　（金）	ちびっこサロン	静岡市児童相談所
2 月 17 日（土）	お仕事フェスタ	焼津市
2 月 24 日（土）	里親サロン	駿河区
2 月 25 日（日）	ワイワイまつり	葵区
2 月各木曜日	スキルアップ研修（４回）	静岡市児童相談所
3 月 3 日　（土）	中高生クッキング	葵区

※　里父サロンを計画中です。
（沢山の参加お待ちしています）

お仕事フェスタの開催に向けて

児童養護施設や里親家庭で暮らす子どもたちが、大人になることの“楽しさ”や働くことの“喜び”を体験できる「お仕事フェスタ」について、社会福祉法人春風寮「児童家庭支援センターはるかぜ」(主催者)を中心に静岡市里親会とともに、当センターも加わり、今年 2 月に焼津市総合福祉会館(ウェルシップやいづ)で開催するため準備を進めています。

このフェスタでは、様々な職業の人(ライフワーカー)からその仕事の楽しさややりがい、その職業に就くためにどんなことが必要かなどの話を楽しく語ってもらいます。会場には、15 人のライフワーカーに職業紹介のブースを設けてもらい、子どもたちが数人のグループで、興味のあるブースを選び、色々な仕事の話を聴いて回ることができます。

開催通知ができたら、皆様にお送りしますので、こうご期待

編集後記

『しょうぼうじどうしゃじぷた』という絵本をご存知でしょうか？
1966 年生まれ、52 年間子どもに愛され続けているお話です。

ちびっこ消防車のじぷたは、はしご車たちみたいにかっこ良くも派手でもないけれど、いつか活躍したいと夢見る働き者。ある日、山小屋が火事になり、小さなじぷたの出番がやってきました！
お話はハラハラドキドキの連続です。ふと思います。子ども達はこんなふうに、毎日と向き合い、自分よりも何倍も大きな山を登っている。怖いけれど勇気を奮い立たせて乗り超えていく。時には失敗したり落ち込むこともあるでしょう。

そして話はさらに飛躍しますが、そんな時、子ども一人ひとりに寄り添える立場にいるのが里親さんですよね。子どもの過去も今も受け止めて一緒に走り続けてくれる里親さん。大きな存在です。

そしてまたまた飛躍するのですが、私たち支援センターもじぷたのように「小さいけれど小回りの利く応援団」でありたいと思っています。

今年度も皆さんからの声を受け、啓発、研修、相談・支援に取り組みたいと思っています。たくさんの声を聞かせてください。

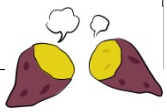
NPO法人　**静岡市里親家庭支援センター**
〒420－0947　静岡市堤町 914 番地の 417（静岡市児童相談所内）
TEL. 275－2252・FAX. 255－2052
担当者　　望月　根生　髙山
E-mail: satooya@skyblue.ocn.ne.jp

11月 ちびっこサロン

日　時　平成29年11月18日

場　所　JA美和支店

41人参加



当日はあいにくの雨で楽しみにしていた芋ほりが中止になってしまい残念でしたが、室内でさつまいもの話を聞いたり、フラワーアレンジメントや芋の子団子作りなど盛り沢山の企画で里親子共に楽しく過ごしました。フラワーアレンジメントでは「どこに活けようかな？」と言いながら子ども達も真剣。素敵なアレンジメントが完成しました。子ども同士も、かけ回ったり、お菓子を交換したり小さい子どもの面倒をみたりととっても仲良しさんでした。

昼食は、豚汁・おにぎり・スィートポテト。豚汁には、さつまいもが沢山。大きいお鍋は、あっという間に空っぽになりました。お腹いっぱいで大満足でした。

クリスマス会

日　時:平成29年12月9日

場　所:静岡市児童相談所

参加者:72人

クリスマス会。子どもたちもワクワク。手遊び・手品、自己紹介・いただきますゲーム。芸達者のお父さん、お母さんたちが繰り広げる楽しいミュージカル？「すてきな帽子屋さん」とっても上手でしたね。

その後は･･･　「ブルゾンひろみとwith-G♪」の登場で大盛り上がり！！参加者みんなが、くぎづけでした。

最後は、お待ちかねのサンタクロースが登場♪今年のサンタさんはあわてんぼうで、プレゼントを忘れてきてしましい、それに気づいたトナカイさんが急いで届けてくれたおかげで、みんなに プレゼントを配ることが出来ました。　笑顔・笑顔の楽しい会で大 人も子ども大満足でした。

皆様のご理解に感謝いたします

（平成 29 年 7 月 1 日～12 月 13 日）

正会員

【個人】

守屋 明　滝川和子　杉山友章

賛助会員

【個人】

石田妃佐子　長島可並　山田道子　近藤伊理弥　佐野容子　石上輝子　亀山信子
浅井きみ江　今村道子

【団体】

あゆみ保育園　㈲松永和廣設計事務所　合同会社 AQUASOL

かん小児科クリニック菅明彦

寄附者

【個人】

蒲原屋/金子 武　佐々木愼一　守屋 明　安池康之　久應院　中川雅夫　丸谷百合子

浅井きみ江　眞保和彦　久保坂 篤

【団体】

東海ビバレッジ　アイワチャリティコンサート実行委員会

敬称略・順不同で掲載させていただきました。

皆様から寄せられた会費や寄付金は、本センターが取り組む事業のために大切に使わせて頂きます。
今後ともご支援をよろしくお願いいたします。